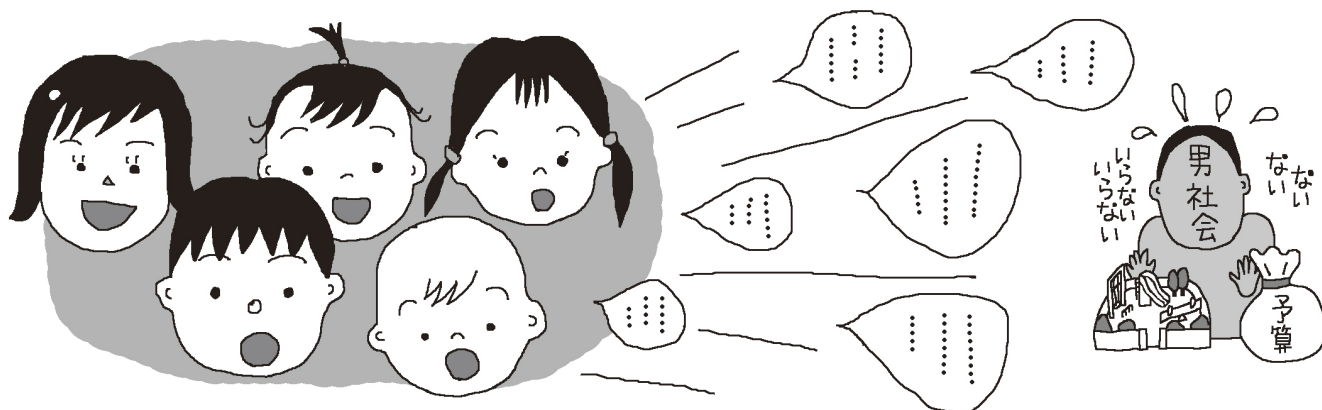


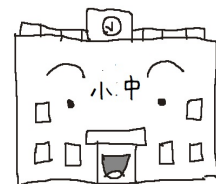
子どもをまもりまします

大人の価値を押し付けず、小さな声を大きくしていきます。



- 子どもが子ども時代を楽しむために……自分の学びを自分で決めることができる。
子どもが自分の力でのびていく教育にしたい。

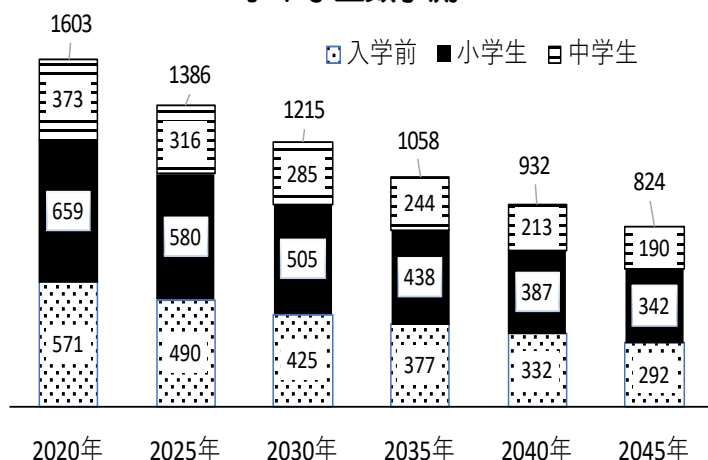
- 「出来るだけ早く町内の小中学校は、菅谷小学校・中学校の敷地に統合するのがのぞましい」という答申が本年2月に嵐山町小中学校適正規模検討委員会より、教育委員会に提出されました。



理由は、子どもの人数の激減・校舎の老朽化への対応をする財政が難しいこと。
1学年2クラス～3クラスにしてクラス替えができる編成を続けたいこと
専門科目の教員が全科目配置できるようにしたい。

課題は、遠距離通学の子どものためのスクールバスか、地域循環型一般バスを運行するか。
新校舎を建築するか。今までの校舎を活用するか、小中一体型にするか、小学校・中学校を分離するかなどです。

小中学生数予測



上のグラフは、国立社会保障・人口問題研究所の嵐山町の将来人口予測から、入学前・小学生・中学生の数を算出し、渋谷とみ子が作りました。
子どもの数が25年後1/2になります。各学年60名前後の予測です。

